

故郷の特色を発表

町内3小学校がふるさと教育学習発表会

とうや小は、稲刈りや田植えの体験学習の内容を交えながら財田米の特色を説明。稲作についてバケツで稲を育てた調査の結果も発表しました。児童の熱のこもった発表に、参加者も熱心に聞き入っていました。

蛇田、洞爺湖温泉、とうや小学校の5年生が2月13日、ふるさと教育で学んだ町の特色や魅力を発表する学習発表会を役場防災研修ホールで行いました。

蛇田小は、洞爺湖に持ち込まれた外来種による環境問題について発表。明治以降のエゾシカの急増の影響なども説明し、環境保護を呼び掛けました。洞爺湖温泉小は、湖畔の彫刻にまつわるクイズを出題。参加した保護者や職員も巻き込んで回答を募り、彫刻の数や作品に込められたテーマなどを解説しました。



洞爺湖の環境問題を調べた蛇田小の児童



発表に聞き入る参加者

それぞれの練習の成果を披露

洞爺湖町ふれ合う心の文化広場開催

洞爺湖町文化団体協議会主催の第40回洞爺湖町ふれ合う心の文化広場が、3月9日洞爺湖文化センターで開催されました。

当日、会場には多くの来場者が集まり、カラオケやフラダンス、日本舞踊など、全15団体が日頃の成果を披露しました。nicolichiviolin (ニコイチヴァイオリン)の優雅な演奏から始まり、力強い歌声や軽快なダンスで盛り上がりました。開場では終始拍手が絶えず、出演者も笑顔で演目を終えることができました。



聖月流日本吟剣詩舞道会



nicolichi violin



洞爺福寿会



カ・ウル・リヨ・カ・パライ田上フラダンス教室



洞爺湖フォークダンスサークル

2/14 北海道青年農業者会議で発表
ACとうやが優秀賞

洞 爺地区などの若手農家でつくる「ACとうや」が、北海道青年農業者会議のプロジェクト発表（畜産経営部門）で優秀賞に選ばれました。

和牛の畜産を営む野々村涉さんが、牛のデータ管理や給水手法の改善で1頭当たりの体重を増加させた成果を発表。町に受賞報告した野々村さんは、成果の一方で和牛の市場価格を課題に挙げ「もっと和牛の魅力を知ってほしいです」と話していました。



受賞報告したACとうやのメンバー

2/13 地域農業の発展に尽力
京谷常美さんが道産業貢献賞

洞 爺地区の農家、京谷常美さんが北海道産業貢献賞（農業関係労者）を受賞しました。

京谷さんは、農家を営む傍ら、昭和43年に洞爺村農業委員会委員を務め、平成22年から令和4年には洞爺湖町農業委員会の会長に就任。農地の適正利用や新規就農者の誘致活動に尽力しました。

下道町長に受賞報告した京谷さんは「農地管理に責任を持って取り組んできました」とこれまでを振り返っていました。



受賞報告した京谷さん（右）

2/27 母校の校歌に親しみを
奏楽が町内全校へCD・DVD寄贈

札 幌のNPO法人奏楽（岩崎弘昌代表）から町内の全小中学校・高校へ、校歌を収録したCD・DVDが寄贈されました。

奏楽は道内各地での演奏や、校歌を収録したCD・DVDを寄贈する活動に取り組んでおり、今回は町教育委員会から依頼をし、全児童・生徒などへ約680枚を寄贈してもらいました。

贈呈式は洞爺中学校で行われ、2年生の二瓶伽桜さんは「この音源で練習し、すてきな校歌にしたいです」と話しました。



CD・DVDの寄贈を行った岩崎代表(左)と二瓶さん

2/14 おいしいね 虻田の海の幸
小中学校などでホタテ給食

い ぶり噴火湾漁業協同組合が、噴火湾産のホタテ137詰（貝殻付き）を町に寄贈しました。

町内の海産物の魅力を知ってもらおうと例年行われており、小中学校などの給食として振舞われました。

虻田小学校では、新鮮なホタテが入ったカレーが登場。児童は、おいしそうにほおばりながら虻田の海の幸を味わっていました。



ホタテ給食を味わう児童